外国人から見た日本の魅力

ダイアンから見たおもしろニッポン文化

榎並人権合同講演会

9月10日（土）午後2時より榎並小学校において「榎並人権合同講演会」が開催されました。

今年は3月に東日本大震災が起こり、夏は各地で大雨や土砂くずれの被害などあまり明るい話題のない年になりました。今年の講演はそんな暗さを吹き飛ばし、明るくということで、英国人落語家「ダイアン吉日」さんをお招きして「外国人から見た日本の魅力―ダイアンから見たおもしろニッポン文化」―と題し講演していただきました。

イギリスのリバプール出身のダイアンさんは、小さい頃から世界の国に興味があり、世界中を旅してまわる中、日本に魅せられました。日本に来て21年、大阪に在住されています。

日本に来た理由は「サムライの彼氏を探しに来ました。」と場内爆笑。「東京に行っても、名古屋に行っても、大阪でも見つからずやっと京都映画村で見つけました。」とさらに大爆笑でした。

ダイアン＝大安＝グッドディと自分の名前が日本ではとても縁起の良い名前と知りました。日本の文化では、陶芸、生け花、茶道、着付け、和裁など習得されました。とくに着物が大好きで230着も持っておられるそうです。そして落語に興味を持ったのは桂枝雀さんの英語落語の講演の際にお茶子をしたのがきっかけで、扇子と日本手ぬぐいで色々なしぐさができることに感動、落語道場に入門され、以後寄席などに出演されています。

また、ダイアンさんは忙しい合間をぬって震災被災地でボランティア活動をされています。

会場ではバルーンパフォーマンスも披露され、あっという間に時間がすぎました。

ダイアンさんは、「外国人から見て日本がとてもステキだと思った」こと、そして「ステキな日本の文化をどうぞ大切にしてください」と締めくくられました。私たちも平和な日本を大切にし日本のすばらしい文化を守っていこうと強く思いました。

ダイアン吉日さん

ベルマークで被災地支援を！

日常生活用品などについているベルマークで、被災地校への学用品援助が出来る事をご存知でしょうか？

ベルマークとは？

ベルマークは、学校などで集められ1点＝1円のベルマーク預金となります。預金を使ってボールなど学校用品に交換すると同時にその10％が寄付され、へき地校や特別支援学校の支援にあてられています。

被災地校支援に

このベルマーク預金を使って3月11日の東日本大震災の被災地校へは「緊急友愛寄付」として直接寄付ができることになりました。

3月から7月までで、1800万円を超す寄付金があり、ノート・鉛筆・クレヨンなどが被災地校へと送られたそうです。

学用品と共に沢山の人の温かい心も、子ども達に届けられています。

温かい心をとどけよう

そこで、榎並小学校はぐくみネットでは子ども達と共にベルマークを集め、被災地の子ども達に「緊急友愛寄付」をしたいと思います。

そして、ベルマークを集める活動を通して、子ども達に、一人一人が無理なく出来る小さな事でも、みんなで協力すれば困っている人達を助ける事が出来るということに気付いてもらいたい、また、継続的に活動する事で、子ども達のボランティア精神を育んでいきたいと思っています。

ご協力お願いします

榎並地域の皆様にも、ベルマーク収集の御協力をお願いできないでしょうか？ベルマーク回収箱を、榎並会館・榎並福祉会館・NeX旭東に設置していますので、御協力宜しくお願い致します。

4月　榎並小学校から、釜石の子ども達へ向けて応援メッセージを送りました。